

# 興徳寺便り

第142号  
(復刊第67号)  
令和5年暮

それでも頑なに白黒はつきりさせたがる人は・・・

## 白黒

物事に

白黒はつきり  
つけたがる人

グレーのままに  
しておくほうが  
いいこともあるのに

街を歩けば  
銀杏の葉は  
黄色に色づき  
柿は夕日の色に  
染まっているのに  
空はこんなにも  
透明青なのに

それでも  
頑なに

白黒はつきり  
させたがる人は

恋人も  
友達も  
家族も  
失って

ひとりぼっちで  
白黒の世界に  
佇むことになるだろう

谷 郁雄詩集「大切なことは  
小さな字で書いてみる」より

谷 郁雄 1953年三重県に生まれる。同志社大学在学中より詩作を始め、78年に上京。リリー・フランキー、尾崎世界観、吉本ばななどのコラボ詩集など、著書多数



物事の白黒をはつきりさせなければ気が済まない人がいます。そこまでいかなくても、私たちはとにかく物事を〇か×かで判断しがちです。お金がある事が〇、貧乏は×、健康が〇、病気が×、頭が良ければ〇、そうでなければ×、美人は〇?・・・よく「普通はネ」と言いますがその普通と言っている基準も実は自分の価値判断で、白と黒の間に横たわる限りなく広大なグレーゾーンのどこかに線を引いて、白と黒を分けているだけのことではないでしょうか?

『法華経 方便品』に「諸法実相（しよほうじつそう）」という言葉があります。「諸法」とは、ものの全ての存在であり、「実相」とは、真実のすがた―すべての存在（諸法）のありのままの姿を仏の眼で観ること―

仏の眼（まなこ）で観るということは自分の物差や立場で、ものごとを押し測ったり、考えたりせずに、私見をまじえずにもっと公平な、大きな高い視野に立って観ること、ありのままの姿を素直に受けとめてみることに。長い人生のなかで誰もが何度となくピンチに立たされますがその時に、これはダメと判断するのでなく、「これは仏さまが与えてくれた試練だ!」と逃げずに受けとめ、その時点での最大の努力をしてみましよう。

誰もが「しあわせ」を求めて生きていますが、「ありのまま」「あるがまま」をそのまま素直に受け入れられるときが「しあわせ」ということなのです  
「すべて良し!」



# 暮れから年始のご案内

**12月17日(日) 8:00~ 本堂の大掃除**  
暮の忙しい時期ですが 御協力できる方は お願いいたします。2時間程度です。

**12月24日(日) 15:00~ 写経 16:00~<sup>しょうだいぎょう</sup>唱題行**

**12月31日 <sup>しょうだいぎょう</sup>除夜の唱題行 23:30~**  
大晦日から新年にかけて1時間の唱題行です。途中参加もできます。  
寒いので閉め切っていますが自由にお入りください。

**1月2日 新年初法要 10:00~ 法要 引き続き 法話**  
興徳寺の初詣です。ほとけさま、ご先祖さまに 越年(おつねん)の感謝の祈いを捧げ、  
新しき年の安穏と 新型コロナウイルスの終焉を 御祈願いたします。  
いつものように オイシイ甘酒とお汁粉、お年玉付き。お誘いあわせでどうぞ。

**1月20日~2月3日 <sup>かんぎょう</sup>寒行 18:45~読経 19時~行脚 一般参加受付**  
1月20~22日:三澤寺、23~24日:妙泉寺、25日:定林寺 26~28日:常境寺  
1月29~31日:妙覚寺 2月1~3日:興徳寺

興徳寺出発のコース 2月1日(木)大畑~押出~下組~鳥並  
2月2日(金)辻~久保(大鹿窪)  
2月3日(土)お寺の周辺30分。法要15分間~**豆まき**

**1月28日(日) と 2月25日(日) 15:00~ <sup>しょうだいぎょう</sup>写経と唱題行**



雨のち曇りそして雪、最後は晴れ



4年ぶりのお寺の「バス旅行」、11月17~18日、26名の参加者と飛騨高山、松本城に行つて来ました。朝は雨でしたが途中で上がり、翌朝の安房峠は大雪、松本からは晴れ間も顔を出し とてもドラマチックな旅となりました。





男衆（おとこしゅう=男性スタッフ）



妙善寺 寺尾是堯上人の法話  
深くてタメになるお話し、笑いも交えて



女衆（おんなしゅう=女性スタッフ）



コロナ禍で制限つきで開催されてきた「お会式」でしたが4年ぶりに完全復活？！しました。素朴な手作りの食事を家族そろって楽しみながら皆の笑い声が聞こえてくる、ムカシから続いている「お会式」の風景です。

【写真提供 高瀬幹雄】



### 暮のお経廻りの予定

- 12月2日 (土) 万野原新田、大岩・小泉
- 3日 (日) 富士市
- 12月4日 稲子～芝川・大久保
- 5日 精進川と下条
- 6日 下条～青木の一部
- 7日～8日 青木～馬見塚・外神
- 9日 (土) 清水・静岡・由比、希望者
- 10日 (日) 三島、内房、大久保、希望者、  
柚野
- 11日 大中里・淀師・淀川町・  
中島町・穂波町、柚野
- 12日 富士見ヶ丘・宮原・源道寺・野中・  
星山・田中町、柚野
- 13日 西町・  
貴船町・泉町・大宮町・宮町・豊町  
柚野
- 14日 北山・上井出 山宮・栗倉・  
舟久保町・村山 柚野
- 15日～柚野
- 16日 (土) 希望者

\* 当方の都合で日付変更もあります。  
\*\* 変更を希望する方は ご連絡ください。

### 住職のつとめ

●いつまでも暑い夏でやつと扇風機を片付けたと思ったら急に寒くなって炬燵とストーブを出しました。暑くもなく寒くもないホントにいい季節がだんだん減ってきている気がします。かつて私が住んでいたブラジル・サンパウロでは扇風機もストーブも持っていない(必要も無くて)、気候的には恵まれていたな〜と思います。私が緊張感に欠ける(ポーツとして)のはそのせいかも。

●今年の彼岸花は暑さのせいか開花がずれて例年のお彼岸の頃はまだ半分ほどの開花状況でしたが、遅く咲いた花が10月まで楽しませてくれました。そして彼岸花が終わると「バタフライガーデン」、今年も「アサギマダラ」という美しい蝶が飛来し多くの方で賑わいました。『芝川ギフチョウの会』の高瀬幹雄さんと文江さんご夫妻が昨年荒地地を造成し苦勞の末に見事なフジバカマの畑にユニークなのは50区画ほどに分割し、協力者に呼びかけ管理をお願い

したことです。皆さんが黙々と手入れをしながら最後の喜びを共有している姿がスバラシイと思いました。●「お会式」では法要の後の食事を復活させました。コロナ禍でのさまざまな取り組みが新たな習慣となつてかお布施を納めて帰られる方が増え、せつかくの「法話」も空席が目立ちました。かつては椅子が足りず立ち見?もできるほどの「法話」、今回の寺尾上人も周到な準備をされて臨んでくださり、中身の濃いお話でした。来年以降も皆さまに良い「法話」とオイシイ「食事」を準備いたしますので、どうぞ法要にも参列し



てください。●お寺の旅行も4年ぶりに復活しました。お会式の終わった週末の金土曜日、26名で

### タイゼン・ケイタイ ; 090-2180-8591

飛騨高山と松本城へ。ドライバーもガイドさんも皆檀家さんという気心知れたお仲間との楽しい時間を過ごしました。●年末なのでお檀家さんには「お札(ふだ)」を同封します。「魔除け」となりますので玄関に外向けに貼ってください。その他・暦・一円貯金箱・年忌案内(該当者に)を同封しました。ご確認を。●なお「一円貯金」は今回もできれば50円硬貨以上でお願いいたします。●今回のイラストは前号で紹介した下柚野望月雅文さんの長女・美琴(みこと)さん(東高3年)です。富士宮市の市制80周年を記念して行われた「富士宮市の魅力を伝える」さくやちゃんイラストコンクール」中学・高校の部で見事一位となりデザイン化された作品『MILKさくやちゃん』です。まかいの牧場の牛乳は富士宮市の魅力だと思い、描いたそうです。すでにキーホルダーなどに商品化されています。美琴さん、スゴイですね。これからも応援していきます。

【泰然記】